

主要地方道 山香国見線

1. 事業概要

事業名	主要地方道 山香国見線 道路改良事業
総事業費	約 2.2 億円
工事場所	大田村大字小野から豊後高田市大字一畑
事業期間	平成 7 年度～平成 14 年度
改良延長	2,260 m (現道延長 3,260 m)
道路幅員	全幅員 9.0 m (車道 6.5 m + 路肩 2.5 m) (現道幅員約 4 m)
トンネル部	一畑トンネル 405 m

2. 事業経過

山香国見線は、速見郡山香町の国道 10 号を起点に、東国東郡国見町の国道 213 号へ至る延長 3.8 km の主要地方道。

国東半島の南北を最短で連絡し、主要地方道豊後高田国東線とともに地域の観光、産業に欠かせない重要な道路。

本路線のうち、大田村小野から豊後高田市一畑にかけては、幅員が狭小で、平面・縦断線形が極めて厳しく、安全で円滑な交通を阻害しているため、地元関係者からも早急な道路整備が望まれていた。

このため、豊後高田国東線の豊後高田市一畑から国東町横手の間の工事にあわせ、平成 7 年度より改良工事に着手し、平成 15 年 2 月に開通の運びとなった。

当区間の開通により、地域の産業の活性化や観光資源の開発などが期待されている。

3. 事業効果

1) 安全な生活環境の創出

バイパスの完成により、距離で 1.0 km、時間で 5 分間短縮され、平面・縦断線形が改良されたことにより、安全で快適な走行が可能となった。

自然災害を受けやすい山岳部の現道が、トンネルにより直結されたことで、災害や冬季積雪にも強い路線となった。

2) 活力ある地域の創造

本路線は、国見町役場から空港道路の杵築インターチェンジを最短で結ぶ道路（国道213号経由より約14km短縮）であり、本工区の完成により高速交通網へのアクセス性が向上されることから、交流人口の増加が期待できる。

本路線は、国東半島の六郷満山の歴史的仏教文化遺産を結ぶ観光ルートの南北軸をなす重要な幹線道路で、今回の開通により、大型観光バスの乗り入れが容易となることから、観光客の増加が期待できる。